

1.	②	11.	③	21.	③	31.	④	41.	②
2.	③	12.	②	22.	①	32.	②	42.	④
3.	②	13.	③	23.	③	33.	②	43.	②
4.	④	14.	②	24.	③	34.	②	44.	①
5.	①	15.	④	25.	③	35.	①	45.	③
6.	②	16.	④	26.	④	36.	②	46.	②
7.	②	17.	③	27.	②	37.	②	47.	①
8.	④	18.	④	28.	③	38.	④	48.	②
9.	①	19.	②	29.	④	39.	④	49.	①
10.	④	20.	④	30.	①	40.	①	50.	④

1.

解答 ②

【解説】

正解は②「soup」です。日本語の「スープ」と同じ意味で、肉や野菜などを煮込んで作る汁物料理を指します。温かいものが多いですが、冷たいスープもあります。④の「soap」は「石鹸」という意味で、発音もスペルも似ているので注意が必要です。①「sauce」は料理にかける「ソース」、③「juice」は果物や野菜の「ジュース」を意味します。

◆補足：スープの種類には、コーンスープ(corn soup)やパンプキンスープ(pumpkin soup)など、材料の名前を前につけたものがたくさんあります。日本では「お味噌汁」もスープの一種として紹介できますね。英語では“miso soup”と言います。

2.

解答 ③

【解説】

正解は③「Congratulations!」です。相手の試験合格、卒業、昇進、結婚、出産など、喜ばしい出来事があったときに「おめでとう!」と祝福の気持ちを伝えるための決まり文句です。通常、-s をつけて複数形で使います。①「Good luck!」は「幸運を祈る!」という応援の言葉、②「My pleasure.」は「どういたしまして」という丁寧な返事、④「Thank you.」は「ありがとう」という感謝の言葉です。

◆補足：口語では、短く“Congrats!”と言うこともよくあります。友達同士の会話ではこちらの方がよく使われるかもしれませんね。何に対してお祝いを言っているのかを明確にしたいときは“Congratulations on ~”の形を使います。例：Congratulations on your graduation! (卒業おめでとう!)

3.

解答 ②

【解説】

正解は②「anywhere」です。疑問文や否定文で「どこかへ」「どこにも」という意味で使われる副詞です。問題文は「先週末、どこかへ行きましたか？」と尋ねる疑問文なので、「anywhere」が最も適切です。①「somewhere」は、主に肯定文で「どこかへ」という意味で使います。③「nowhere」は「どこへも～ない」という否定の意味を持つ単語です。④「everywhere」は「あらゆる場所へ、どこへでも」という意味です。

◆補足：anywhere は肯定文で使うと「どこへでも」という意味になります。例えば、「You can sit anywhere you like.」（好きなところどこにでも座っていいですよ）のように使います。some-, any-, no- の使い分けは英語の重要なポイントなので、しっかり整理しておきましょう。

4.

解答 ④

【解説】

正解は④How about doing A?です。この表現は、相手に何かをすることを提案したり、意見を尋ねたりするときに使います。about は前置詞なので、後ろに動詞が来るときは-ing 形（動名詞）になります。How about going to the movies?（映画に行くのはどうですか?）。①「A はどのくらいの長さですか?」、②「どうすれば A ができますか?」、③「A をどう思いますか、A は気に入りましたか?」という意味の質問です。

◆補足：What about doing A?も How about doing A?とほぼ同じ意味で使えます。提案に対する返事として、賛成なら That sounds good.（いいですね）、反対なら I'd rather not.（あまり気乗りしません）のように答えます。

5.

解答 ①

【解説】

正解は①「～の中をのぞく」です。「look」は「見る」という動詞で、「in」は「～の中に」という前置詞なので、組み合わせて「～の中を見る、のぞき込む」という意味になります。「I looked in the box, but there was nothing.」（私は箱の中をのぞきましたが、何もありませんでした）のように使います。②「～を探す」は look for、③「～を調べる」は look up、④「～の世話をする」は look after で、look を使った熟語は意味が様々なので、一つ一つしっかり覚えましょう。

◆補足：「look into ～」も「～の中をのぞき込む」という意味がありますが、さらに「（問題などを）調査する、詳しく調べる」という意味で使われることも多いです。

6.

解答 ②

【解説】

正解は②「～の隣に」です。「next」は「次の」という意味の単語ですが、「next to ～」の形で「～の隣に」という場所を表す前置詞句になります。問題文は「郵便局は銀行の隣にあります」という意味です。①「～の向かいに」は across from ～、③「～の前に」は in front of ～、④「～の後ろに」は behind ～ と表現します。

◆補足：道案内をするときなどによく使われる表現ですね。「The next station is Shibuya.」（次の駅は渋谷です）のように、単独で「次の」という意味で使うことももちろん多いです。

7.

解答 ②

【解説】

正解は②「hold on」です。直訳すると「つかまり続ける」ですが、電話の会話で「（電話を）切らずにそのままお待ちください」という意味で非常によく使われます。また、日常会話で「ちょっと待って」と言いたいときにも使えます。「Hold on, please. I'll get Mr. Tanaka.」（少々お待ちください。田中を呼んでまいります）のように使います。①「go on」は「続ける」、③「depend on」は「～に頼る」、④「turn on」は「（電気などを）つける」という意味です。

◆補足：「Hold on」と似た表現に「Hang on」があります。こちらも「ちょっと待って」という意味で、カジュアルな会話でよく使われます。

8.

解答 ④

【解説】

正解は④「hometown」です。「home」（家、家庭）と「town」（町）が組み合わさった単語で、自分が生まれ育った町や都市、つまり「故郷」や「地元」を指します。「Sapporo is my hometown.」（札幌は私の故郷です）のように使います。①「downtown」は商業施設などが集まる「中心街」、②「country」は「国」や「田舎」、③「capital」は「首都」を意味します。

◆補足：「故郷」を表す別の言い方として「birthplace」（出生地）もありますが、「hometown」の方が、実際に育った場所というニュアンスが強く、より一般的に使われます。

9.

解答 ①

【解説】

正解は①「ジャケット、上着」です。「jacket」は、シャツなどの上に着る、丈の短めな上着全般を指します。日本語の「ジャケット」とほぼ同じ感覚で使えます。②「セーター」は sweater、③「コート」は coat、④「シャツ」は shirt です。これらは基本的な衣類の単語なので、しっかり区別して覚えましょう。

◆補足：革製のジャケットは“leather jacket”、デニム生地のは“denim jacket”のように、素材の名前を前につけて表現することが多いです。

10.

解答 ④

【解説】

正解は④「夜更かしをする」です。stay up は「寝ないで起きている」という意味で、late（遅く）がつくことで「夜遅くまで起きている、夜更かしをする」という意味になります。I often stay up late watching movies.（私はよく映画を見て夜更かしをする）。①「遅刻する」は be late、②「遅くまで滞在する」は stay until late、③「最新の状態に保つ」は keep up to date です。

◆補足：late は「遅い、遅く」という意味の形容詞・副詞です。stay up late の反対は go to bed early（早く寝る）です。

11.

解答 ③

【解説】

正解は③「either A or B」です。「A か B のどちらか」という二者択一を表す重要な表現です。「You can choose either the red one or the blue one.」（赤いのと青いのの、どちらか一方を選べます）のように使います。①「both A and B」は「A と B の両方」、②「not only A but also B」は「A だけでなく B も」、④「neither A nor B」は「A も B もどちらでもない」という意味で、それぞれ対で覚えておくと便利です。

◆補足：either A or B が主語になる場合、動詞は B の形に合わせるのが一般的です。例：Either you or he has to go.（あなたか彼のどちらかが行かなければなりません。）

12.

解答 ②

【解説】

正解は②「waiter」です。レストランの男性の給仕さんのことですね。「待つ」という意味の動詞「wait」に「～する人」を意味する -er がついてできた単語です。①「writer」は「作家」、③

「winter」は「冬」、④「winner」は「勝者」です。発音が似ている単語は、意味とスペルをセットで覚えるのが大切です。

◆補足：女性の給仕さんは「waitress」（ウェイトレス）と言います。近年では性別を問わない「server」という言葉もよく使われるようになってきました。

13.

解答 ③

【解説】

正解は③「Excuse me.」です。「すみません」という意味ですが、主にこれから相手に迷惑をかけることに対して使います。例えば、知らない人に道を尋ねるために話しかけるとときや、混雑した場所で人の前を通るときなどです。①の「I'm sorry.」は、すでにやってしまったことに対して「ごめんなさい」と謝るときに使います。②は「どういたしまして」、④は聞き取れなかったときに「もう一度お願いします」という意味で使います。

◆補足：くしゃみをした後や、げっぷが出てしまった後などにも、エチケットとして「Excuse me.」と言います。日本語の「すみません」は謝罪にも呼びかけにも使えて便利ですが、英語では場面によって使い分ける必要があります。

14.

解答 ②

【解説】

正解は②「enough」です。「十分な、必要なだけ」という意味で、形容詞としても副詞としても使われます。形容詞として使う場合は「enough money」（十分なお金）のように名詞の前に置きます。副詞として使う場合は「old enough」（十分な年齢で）のように形容詞や副詞の後ろに置くのがポイントです。①「many」は「たくさんの」、③「little」や④「few」は「少ししかない」という否定的な意味です。

◆補足：「That's enough.」で「もう十分です」という、何かを止めさせるときの表現になります。また、「enough to do」の形で「～するのに十分」という意味も作れます。例：He is old enough to drive a car.（彼は車を運転するのに十分な年齢です。）

15.

解答 ④

【解説】

正解は④「Don't worry.」です。「worry」は「心配する」という動詞で、否定の命令文にすることで「心配しないでください」と相手をなだめたり、励ましたりする表現になります。①「Be careful.」は「気をつけて」と危険を知らせるときなどに使います。②「Never mind.」は「気にしないで」という

意味ですが、主に相手が謝ったときや、言ったことを取り消すときなどに使われます。③「No problem.」は「問題ないよ」と依頼を引き受けるときなどに使います。

◆補足：何について心配しなくていいかを伝えるときは、「Don't worry about it.」（そのことは心配しないで）のように about を使います。

16.

解答 ④

【解説】

正解は④「もし～ならば」です。接続詞「if」は、条件を表す文を作るときに使います。「もし～なら、…するだろう」という形で、仮定の話をすることができます。例えば、「If it is sunny tomorrow, let's go to the park.」（もし明日晴れたら、公園に行きましょう）のように使います。①「～だけれども」は though や although、②「～の時」は when、③「～なので」は because などが使われます。

◆補足：「if」は「～かどうか」という意味で使われることもあります。これは、動詞の後ろに続いて「I don't know if he will come.」（彼が来るかどうか分かりません）のように使われます。まずは「もし～ならば」の基本の意味をしっかり覚えましょう。

17.

解答 ③

【解説】

正解は③「いらっしゃいませ、何かお探しですか」です。直訳すると「お手伝いしてもよろしいですか？」となりますが、お店の人がお客さんに対して「何かお探しですか？」と声をかけるときの決まり文句です。日本語の「いらっしゃいませ」に近いニュアンスで使われます。①「手伝ってもらえますか。」はお客さん側が言う言葉で、「Can you help me?」となります。②は may 「～かもしれない」で訳していますが、ここでの may は『許可』の意味で使っています。

◆補足：「May I help you?」と聞かれたら、何か探しているものがあれば「Yes, I'm looking for a sweater.」（はい、セーターを探しています）のように答えます。特に用がなければ「No, thank you. I'm just looking.」（いいえ、見ているだけです）と答えるのが一般的です。

18.

解答 ④

【解説】

正解は④「color」です。日本語の「カラー」と同じで、「色」や「色彩」を意味する最も一般的な単語です。「Red is my favorite color.」（赤は私の好きな色です）のように使います。①「shape」は「形」、②「sound」は「音」、③「light」は「光」を意味します。

◆補足：イギリス英語では **colour** と綴ることが多いですが、意味は同じです。動詞として「～に色を塗る」という意味もあります。例：Please color this picture. (この絵に色を塗ってください。)

19.

解答 ②

【解説】

正解は②「風邪をひいている」です。「have a cold」は「風邪をひいている」という状態を表す最も一般的な表現です。「風邪をひく」という動作を表すときは“catch a cold”と言うこともあります。①

「熱がある」は have a fever、③「頭痛がする」は have a headache、④「咳が出る」は have a cough と言います。これらは風邪の具体的な症状ですね。

◆補足：体の不調を訴えるときは“I have a ～”という形がよく使われます。例えば、a stomachache (腹痛)、a sore throat (喉の痛み)、a runny nose (鼻水) など、色々な症状を表現できます。覚えておくと、いざという時に役立ちますよ。

20.

解答 ④

【解説】

正解は④「last month」です。「last」は「この前の、先の」という意味で、「month」(月)と組み合わせることで「前の月」、つまり「先月」を表します。過去を表す文で使われるのが基本です。例えば、「I went to Tokyo last month.」(私は先月、東京へ行きました)のように使います。①「last week」は「先週」、②「this month」は「今月」、③「next month」は「来月」という意味になります。

◆補足：「last」は他にも last week (先週)、last year (去年)、last night (昨夜)、last Sunday (この前の日曜日)のように、様々な時の言葉と組み合わせて使うことができます。this (今～) や next (次の～) との使い分けと合わせて覚えておきましょう。

21.

解答 ③

【解説】

正解は③「Thanks for your help.」です。「Thank you」や「Thanks」の後ろに「for + 名詞」を続けると、何に対して感謝しているのかを具体的に伝えることができます。「help」は「助け」なので、「助けてくれたことに対してありがとう」という意味になります。①は「来てくれてありがとう」、②は相手の助けが結果的に役に立たなかった場合などに「(ともかくも) ありがとう」と伝える表現、④は謝罪の言葉です。

◆補足：「Thank you for your help.」と言うと、「Thanks for your help.」よりも少し丁寧な響きになります。動詞の-ing 形を使って「Thank you for helping me.」と言うこともできます。

22.

解答 ①

【解説】

正解は①「まだ、依然として」です。副詞「still」は、ある状況が続いていることを表し、肯定文で使われることが多いです。「He is still sleeping.」(彼はまだ眠っています)のように使います。②「もう、すでに」は already、③「ちょうど」は just、④「決して～ない」は never という単語を使います。

◆補足：否定文で「まだ～ない」と言うときは「not ... yet」を使うのが一般的です。例えば、「He hasn't woken up yet.」(彼はまだ起きていません)となります。「still」を否定文で使うと、「相変わらず～ない」のように、驚きやいらだちの気持ちを表すことがあります。例：He still doesn't understand. (彼はまだ理解していない。)

23.

解答 ③

【解説】

正解は③「よく分かりません。」です。「I'm not sure.」は、何かを尋ねられたときに、答えが分からなかったり、確信が持てなかったりするときに使う表現です。「I don't know.」と似ていますが、「I'm not sure.」の方が少し柔らかいニュアンスになります。①「同意しません。」は「I don't agree.」、②「興味がありません。」は「I'm not interested.」、④「問題ありません。」は「No problem.」などが適切な表現です。

◆補足：「sure」は「確信して」という意味の形容詞です。疑問文で「Are you sure?」(本当に?)と聞くこともよくあります。また、「I'm not sure if/what/when ...」のように、何が不確かなのかを続けて言うこともできます。例：I'm not sure if he will come. (彼が来るかどうか分かりません。)

24.

解答 ③

【解説】

正解は③「Why not?」です。この表現には大きく二つの使い方があります。一つは、「Let's go shopping.」(買い物に行こう)のような誘いに対して、「いいね！行こう！」(断る理由なんてないよ)と前向きに同意するとき。もう一つは、「I don't like summer.」(夏は好きじゃないんだ)のように相手が否定的なことを言ったときに、「どうして？(好きじゃないの?)」と理由を尋ねるときです。①は「なぜ私が?」、④は「だから何?」と少し投げやりな表現です。

◆補足：Why not? は短いながらも、文脈によって意味がガラッと変わる面白い表現です。会話の流れをよく見て、どちらの意味で使われているか判断しましょう。

25.

解答 ③

【解説】

正解は③「over there」です。「there」だけでも「あそこに」という意味ですが、「over」をつけることで、少し距離が離れている感じや、「向こう側に」というニュアンスを強調することができます。「The restroom is over there.」（お手洗いはあちらです）のように使います。①「around here」は「この辺りに」、②「up there」は「あの上の方に」、④「out there」は「あそこの外に」といった意味合いになります。

◆補足：近くを指すときは「here」（ここ）、すぐそこなら「right here」（すぐここ）、向こうなら「over there」と使い分けると、距離感をうまく表現できます。

26.

解答 ④

【解説】

正解は④sound です。この動詞は、人から話を聞いたり、物音を聞いたりして、「～のように聞こえる、～そうだ」と感想を言うときに使います。sound + 形容詞の形で使われることが多いです。That sounds interesting. （それは面白そうですね）。①say は「～と言う」、②sing は「歌う」、③sit は「座る」という意味です。

◆補足：sound は名詞としては「音」という意味です。a loud sound （大きな音）のように使います。動詞の sound は、look （～のように見える）や smell （～の匂いがする）などと同じ、五感に関する動詞の一つとして覚えておくと便利です。

27.

解答 ②

【解説】

正解は②「とても」です。副詞の「a lot」は、動詞の後ろに置かれて、その動作の程度や頻度が「とても、たくさん」であることを表します。「Thank you a lot.」で「本当にありがとう」という意味になります。①「少し」は a little、③「あまり～ない」は not ... very much、④「時々」は sometimes を使います。

◆補足：「a lot of ～」の形で「たくさんの～」という意味の形容詞句になることも学びましたね。of があるかないかで品詞と意味が変わるので注意しましょう。「a lot」は「very much」とほぼ同じ意味で使えますが、「a lot」の方がより口語的です。

28.

解答 ③

【解説】

正解は③「What kind of 〜?」です。「kind」は「種類」という意味の名詞で、「What kind of 〜?」の形で「どんな種類の〜ですか?」と具体的な種類を尋ねる疑問文を作ることができます。例えば、

「What kind of music do you like?」(どんな種類の音楽が好きですか?) のように使います。①

「What time is 〜?」は時間を、②「How many 〜?」は数を、④「Which one is 〜?」はどちらかを選択させるときに尋ねる表現です。

◆補足: 「What kind of 〜?」とほぼ同じ意味で「What sort of 〜?」や「What type of 〜?」という言い方もあります。まずは基本の「What kind of 〜?」をしっかりと使えるようにしましょう。

29.

解答 ④

【解説】

正解は④「by the way」です。これは、会話の流れを一度止めて、新しい話題を切り出すときに文の最初に置く便利な表現です。日本語の「ところで」と全く同じように使えます。①「on the way」は

「(〜へ行く) 途中で」、②「in this way」は「このようにして、この方法で」、③「all the way」は「はるばる、ずっと」という意味です。

◆補足: メールやメッセージアプリなど、文章で書くときには“BTW”と略されることもあります。友達同士のカジュアルなやりとりでよく見かけます。

30.

解答 ①

【解説】

正解は①「のどが渴いた」です。「thirsty」は、飲み物が欲しくて「のどが渴いている」状態を表す形容詞です。「I'm thirsty. Can I have some water?」(のどが渴きました。お水をいただけますか?) のように使います。②「疲れた」は tired、③「汚れた」は dirty です。④「30 番目の」は thirtieth で、音が似ているので注意しましょう。

◆補足: 名詞形は「thirst」(のどの渴き) です。be thirsty for 〜の形で、「〜を渴望する、熱望する」という意味で使われることもあります。例: He is thirsty for knowledge. (彼は知識を渴望している。)

31.

解答 ④

【解説】

正解は④「長い間」です。「for 〜」は「〜の間」という期間を表す前置詞で、「for a long time」で「長い間」という意味になります。現在完了形や過去形の文でよく使われます。例えば、「I have lived in London for a long time.」（私は長い間ロンドンに住んでいます）のように使います。①「久しぶりに」は for the first time in a long time、②「ずっと前に」は a long time ago、③「つい最近」は recently です。

◆補足：否定文で「not for a long time」とすると、「長い間〜していない」という意味になります。

例：I haven't seen him for a long time.（彼とは長い間会っていません。）

32.

解答 ②

【解説】

正解は②「another」です。「an + other」がくっついた形で、「もう一つの、別の一つの」という意味を表します。後ろに名詞を置く場合は必ず単数形の名詞が来ます。「Would you like another cup of tea?」（紅茶をもう一杯いかがですか？）のように使います。①「other」は「他の」で、other students のように複数名詞につくことが多いです。③「the other」は「(二つのうちの) もう一方の」という特定のものを指します。④「each」は「それぞれの」という意味です。

◆補足：「another」は代名詞として単独で「もう一つ」という意味でも使えます。例えば、ケーキを一つ食べて「Can I have another?」（もう一つもらえますか？）のように言えます。

33.

解答 ②

【解説】

正解は②「glad」です。「glad」は「うれしい」という意味の形容詞で、特に何か良い知らせを聞いた、人に会えたりしたときに感じる喜びを表します。「I'm glad to hear that.」（それを聞いてうれしいです）のように、後ろに理由を続けることが多いです。①「sad」は「悲しい」、③「sorry」は「気の毒な、残念な」、④「angry」は「怒っている」という意味です。

◆補足：「glad」と似た単語に「happy」があります。「happy」は持続的な幸福感を表すのに対し、「glad」は一時的な出来事に対する喜びを表すことが多いです。しかし、多くの場面で置き換えが可能です。

34.

解答 ②

【解説】

正解は②「2度、2回」です。「twice」は回数を表す副詞で、「2度、2回」という意味です。「I brush my teeth twice a day.」（私は1日に2回歯を磨きます）のように使います。①「1度、1回」は once、③「3度、3回」は three times、④の「4度、4回」は four times です。

◆補足：回数を言うとき、1回は once、2回は twice と特別な単語を使いますが、3回以上は「数字 + times」で表します。また、「何回？」と尋ねたいときには「How many times?」と言います。

35.

解答 ①

【解説】

正解は①「until」です。「～まで（ずっと）」という意味で、ある時まで動作や状態が続くことを表します。例えば、「I will wait here until you come back.」（あなたが戻ってくるまでここで待っています）のように使います。②の「by」は「～までに」という完了の期限を表します（例：finish it by 5 p.m. 5時までにそれを終える）。③「for」は期間の長さ（例：for three days 3日間）、④「since」は過去の起点を表します（例：since yesterday 昨日から）。

◆補足：「until」は、より口語的な表現で「till」と言うこともあります。意味は同じです。「not ... until ～」の形で、「～して初めて…する」という重要な構文も作れます。

36.

解答 ②

【解説】

正解は②「gate」です。「gate」は、家や公園、お城などの敷地を囲む塀や柵に設けられた「門」を指します。また、空港で飛行機に乗るための「搭乗口」という意味でも非常によく使われます。①「door」は建物や部屋の「ドア」、③「window」は「窓」、④「wall」は「壁」を意味します。

◆補足：駅の「改札口」は“ticket gate”と言います。空港では“Please proceed to Gate 25.”（25番搭乗口へお進みください）のようなアナウンスが流れます。

37.

解答 ②

【解説】

正解は②「休憩する」です。「break」には「休憩」という意味の名詞の働きがあり、「take a break」で「休憩をとる」という決まった言い方になります。「Let's take a break for ten minutes.」（10分間休憩しましょう）のように使います。①「昼食をとる」は have lunch、③「散歩する」は take a walk、④「風呂に入る」は take a bath が一般的な表現です。

◆補足：「休憩時間」は“break time”と言います。お昼休憩は“lunch break”ですね。「give me a break」という口語表現もあり、「勘弁してよ」「いい加減にして」といった意味で使われます。

38.

解答 ④

【解説】

正解は④「I'm afraid…」です。「afraid」は「恐れて、怖がって」という意味ですが、「I'm afraid that…」の形になると、「残念ですが～です」「申し訳ありませんが～です」という、相手にとって都合の悪いことを丁寧に伝えるためのクッション言葉になります。that は省略されることが多いです。例：「I'm afraid I can't go with you.」（残念ながら、一緒には行けません。）①、②、③はそれぞれ「思う」「望む」「知っている」という意味で、このような丁寧なニュアンスはありません。

◆補足：相手の質問に「そうではありません」と否定的に答えるときにも、「I'm afraid not.」（残念ながら違います）のように使うことができます。とても丁寧な響きになる便利な表現です。

39.

解答 ④

【解説】

正解は④「somewhere」です。「どこかに、どこかへ」という、はっきりしない場所を指すときに使う副詞です。肯定文で使われるのが基本です。例：「He lives somewhere in Tokyo.」（彼は東京のどこかに住んでいます）。①「wherever」は「どこでも」、②「nowhere」は「どこにも～ない」という意味です。③「everywhere」は「あらゆる場所に、どこでも」という意味で、①と似ていますが、①は通常条件を付けて（あなたが行く場所ならどこでも、それがあるところならどこでも、など）使うのが普通なのに対して、③は条件が付かないすべての場所を指すことができます。

◆補足：some, any, no は -where (場所), -thing (物), -one/body (人) などと結びついて色々な単語を作ります。肯定文では some-、疑問文・否定文では any-、否定では no- を使うのが基本ルールです。例えば、something (何か), anyone (誰か), nothing (何も～ない) などがあります。

40.

解答 ①

【解説】

正解は①「dollar」です。アメリカ、カナダ、オーストラリアなど多くの国で使われている通貨の単位です。記号は「\$」で表します。「This book costs ten dollars.」（この本は10ドルです）のように使います。②「yen」は日本の「円」、③「cent」は1ドルの100分の1にあたる補助単位、④「money」は「お金」全般を指す言葉です。

◆補足：日常会話では、dollar を“buck”と言うこともあります。例えば“ten bucks”は「10ドル」という意味で、とてもカジュアルな言い方です。複数形は s をつけて“dollars”となります。

41.

解答 ②

【解説】

正解は②「～はいかがですか。」です。「Would you like ～?」は、相手に何かを勧めたり、相手の意向を丁寧に尋ねたりするときに使う、とても丁寧な表現です。お店の人がお客さんに使ったり、人の家を訪ねたときなどに使われます。①「～が好きですか。」と好みを尋ねる場合は“Do you like ～?”を使います。③「～してもよろしいですか。」と許可を求めるなら“May I ～?”、④「～しましょうか。」と提案するなら“Shall I/we ～?”が適切です。

◆補足：「Would you like ～?」と聞かれたら、欲しい場合は「Yes, please.」、いらない場合は「No, thank you.」と答えるのが丁寧です。また、「Would you like to do ～?」の形で「～しませんか。」と行動に誘うこともできます。例：Would you like to play tennis with us? (私たちとテニスをしませんか?)

42.

解答 ④

【解説】

正解は④「spaghetti」です。日本語でもおなじみの「スパゲッティ」のことですね。イタリア料理のパスタの一種です。「My favorite food is spaghetti.」(私の好きな食べ物はスパゲッティです)のように使います。英語の「spaghetti」は数えられない名詞として扱われるのが一般的です。①は「ピザ」、②は「スープ」、③は「サラダ」です。

◆補足：「pasta」(パスタ)は、スパゲッティ、マカロニ、ペンネなど、小麦粉を練って作られるイタリアの麺類の総称です。つまり、spaghetti は pasta の一種ということになります。

43.

解答 ②

【解説】

正解は②「leave a message」です。「leave」は「～を残す」、「message」は「伝言」なので、これで「伝言を残す」という意味になります。電話で相手が不在のときに「Would you like to leave a message?」(ご伝言はございますか?)と聞かれたりします。①「take a message」は「伝言を(聞いて書き留めて)受け取る」という意味で、電話を受けた側の人が使います。③「手紙を書く」は write a letter、④「Eメールを送る」は send an email です。

◆補足：「伝言を残す」という行為は、留守番電話 (answering machine) やボイスメール (voicemail) が普及したことで、日常的になりましたね。

44.

解答 ①

【解説】

正解は①「そのほかに」です。副詞の「else」は、what, who, something, anything のような言葉の後ろについて、「そのほかに」「それ以外に」という意味を追加します。問題文は「そのほかに何かご注文はありますか?」という、お店でよく使われる表現です。②「～でさえ」は even、③「～もまた」は also や too、④「～だけ」は only や just で表現します。

◆補足：else を使った表現には、"someone else"（他の誰か）、"somewhere else"（他のどこか）、"What else?"（他には何?）などがあります。まとめて覚えておくと便利です。

45.

解答 ③

【解説】

正解は③「No problem.」です。「問題ないですよ」「お安い御用ですよ」という意味で、相手からの頼みごとを快く引き受ける時や、感謝された時の返事として使われる便利な表現です。①「I'm sorry.」は「ごめんなさい」と謝る時の言葉です。②「That's right.」は「その通りです」と相手の意見に同意する時に使います。④「I'm not sure.」は「よく分かりません」と確信がない時に使います。

◆補足：「No problem.」は、誰かに感謝されて「どういたしまして」と返事をする時にも使えます。この場合、「You're welcome.」よりも少しカジュアルな響きがあります。友達同士の会話などでよく耳にする表現です。

46.

解答 ②

【解説】

正解は②happen です。この動詞は、予期せず、あるいは偶然に出来事が「起こる、発生する」という意味で最も一般的に使われます。What happened?（何が起こったの?）。①hope は「～を望む」、③have は「～を持っている」、④help は「～を手伝う」という意味です。

◆補足：happen to do で「偶然～する」という意味になります。I happened to see him on the street.（私は通りで偶然彼に会った）。take place も「起こる、行われる」という意味ですが、こちらは計画されたイベントなどが「開催される」というニュアンスで使われることが多いです。

47.

解答 ①

【解説】

正解は①「(未来の) いつか」です。「someday」は、未来の漠然とした時を指す副詞で、夢や希望を語る時によく使われます。「I want to go to the moon someday.」(いつか月に行ってみたいです) のように使います。②「毎日」は「every day」、③「先日」は「the other day」、④「今日」は「today」が適切な表現です。

◆補足:「someday」と似た言葉に「one day」があります。「one day」は「(未来の) いつか」という意味の他に、「(過去の) ある日」という意味でも使えますが、「someday」は未来のことだけを指します。この違いを覚えておきましょう。

48.

解答 ②

【解説】

正解は②です。「really」は副詞で、形容詞や動詞を強調して「本当に」「とても」という意味を表したり、文全体を修飾して「本当に？」と事実を確認したりする時に使います。例えば、「This cake is really good.」(このケーキは本当においしい) や、「Really? I didn't know that.」(本当ですか？知りませんでした) のように使います。①「たぶん」は maybe、③「いつも」は always、④「ほとんど〜ない」は hardly など表現します。

◆補足:「really」は形容詞「real」(本当の、本物の) に -ly がついて副詞になった形です。「real」を使った例としては「a real diamond」(本物のダイヤモンド) などがあります。会話で「really」は相づちとしても頻繁に使われる、とても便利な単語です。

49.

解答 ①

【解説】

正解は①「stormy」です。名詞の「storm」(嵐) に y をつけて形容詞にした形で、「嵐の、暴風雨の」という意味を表します。「We couldn't go out because it was a stormy night.」(嵐の夜だったので、私たちは外出できませんでした) のように使います。②「snowy」は「雪の」、③「foggy」は「霧の深い」、④「sunny」は「晴れた」という意味の天気に関する形容詞です。

◆補足:「storm」には、大雨、強風、雷などを伴う荒れた天候全般が含まれます。雪を伴う嵐は“snowstorm”(吹雪)、雷を伴う嵐は“thunderstorm”(雷雨) と言います。

50.

解答 ④

【解説】

正解は④「sign」です。「sign」は、情報や注意を伝えるための「標識、看板、掲示」などを指す言葉です。例えば、「a traffic sign」(交通標識) や「a stop sign」(止まれの標識) のように使います。①

「signal」は、赤・青・黄の「交通信号」や、音や光による「合図」を指します。②「symbol」は「象徴、シンボル」、③「design」は「デザイン、設計」です。

◆補足：sign は動詞として「署名する、サインする」という意味もあります。例えば、「Please sign here.」（ここに署名してください）のように使います。名詞の「合図」と動詞の「署名する」、どちらも重要なので覚えておきましょう。
